

## IT Topics & News

### 『情報セキュリティ白書 2016』の 販売を開始【IPA】

独立行政法人情報処理推進機構（略称=IPA）は、情報セキュリティ全般に関する事例や状況をまとめた書籍『情報セキュリティ白書 2016』を7月に発行した。この白書は、IPAが2008年から年1回発行。今回は、企業・組織のシステム開発者や運用者を対象に、情報セキュリティインシデントや新たな攻撃の手口、サイバーセキュリティ基本法等の新制度の導入に伴う、政府や企業の取り組みをとりまとめたほか、パソコンやスマートフォンを使用する一般の利用者に対しても、身近にある情報セキュリティ上の脅威への認識を促す。

序章では、2015年度に情報セキュリティの分野で起きた注目すべき10の事例を取り上げている。

①標準型攻撃により特殊法人から個人情報流出、②インターネットバンキングの不正送金、被害額は過去最悪を更新、③オンライン詐欺・脅迫被害が拡大、④広く普及しているソフトウェアの脆弱性が今年も話題に、⑤DDos攻撃の被害が拡大、IoT端末が狙われる、⑥重要インフラへの攻撃と重要インフラのセキュリティを強化する国内の取り組み、⑦法改正による政府機関のセキュリティ強化、⑧企業のセキュリティ強化に経営層の参画が重要、⑨セキュリティ人材育成への取り組み、⑩自動車・IoTのセキュリティ脅威が高まる。

個々の問題では、インターネットバンキングにかかわる不正送金の被害は、警察庁によると2014年の1,876件か

ら1,495件と件数は大きく減少したものの、被害額が30億7,300万円と過去最悪の数字となった。スマートフォン利用者に向けたワンクリック請求などのオンライン詐欺・脅迫被害も、IPAに寄せられた相談件数は1,272件と昨年より6割以上増加している。

一方で、こうした脅威に対抗するために、政府は法制度の改正を進め、2016年4月に「サイバーセキュリティ基本法及び情報処理の促進に関する法律の改正案」が成立、政府機関に対する監視等の対象範囲を拡大した。また、企業のセキュリティ強化を目的としてサイバーセキュリティ人材育成総合強化方針、サイバーセキュリティ経営ガイドラインなどを策定・公開している。

『情報セキュリティ白書 2016』では、こうした情報セキュリティインシデントに関する具体的事例や攻撃の手口、政策や法整備の状況等を網羅。さらに「自動車」「制御システム」「IoT」を注目テーマとして取り上げている。



※詳しくはIPAのプレスリリース「7月15日より『情報セキュリティ白書 2016』の販売を開始」を参照  
<https://www.ipa.go.jp/>

『情報セキュリティ白書 2016』

## 「IoT Lab Selection」及び 「地方版IoT推進ラボ」を開催【経済産業省】

経済産業省及びIoT推進ラボ（図1）は、IoTを活用した優れたプロジェクトを選定・表彰する「IoT Lab Selection」を開催した。新たなIoTビジネスモデルの創出や、IoTプラットフォームの発掘・育成を図るため、IoTを活用したプロジェクトを広く募集し、優れたプロジェクトには企業連携・資金・規制改革に向けた調査等の面から、政府関係機関・金融機関等による支援が実施される。

7月31日に行われた第2回「IoT Lab Selection」では、最終選考に選ばれた13件のプロジェクトについて公開プレゼンテーションによる審査を行い、グランプリ、準グランプリ、及び審査員特別賞を選定・表彰した。

グランプリに輝いたのはユニファ株式会社の「保育園内見守り業務のデジタル化支援」。保育園・保育士不足が叫ばれる中、お便りやお昼寝のチェック表といった手書き書類のデジタル化、カメラ・ベッドセンサーを活用した見守り業務などを支援する試み。少人数の保育士でも質の高い保育と業務の効率化を目指す。今後は検温結果を速やかにデータに送れるようなシステム開発が成功のキーポイントとなる。準グランプリには、株式会社フェニックスソリューションの「世界初！ 金属の裏側からでも読み取り可能なRFID」と、株式会社ゼンリン「ドローンの都市内安全飛行の実現に向けた空の3次元地図情報の実証プロジェクト」、さらに審査員特別賞に

は、株式会社エクスメディオ「画像及び問診データによる眼科疾患識別技術」がそれぞれ選ばれた。

また同日、「地方版IoT推進ラボ」も開催された。地域におけるIoTプロジェクト創出のための取り組みを広く募集し、地方からのIoTビジネスの創出を目指す。

第一弾選定地域に選ばれたのは29地域。愛知県IoT推進ラボでは、2020年度までに自動走行・自動車安全技術実証実験を20回実施、ロボット製造品出荷額等国内シェア30%を目指すなど、3分野でのIoTやAIにフォーカスした取り組みを強化する。各地域のプロジェクトでも、具体的な数値目標も挙げるなど、各地域の特色を活かした取り組みが並んだ。

※詳しくは経済産業省のニュースリリース「『IoT Lab Selection』及び『地方版IoT推進ラボ』を開催し、受賞者を選定・表彰しました！」を参照

<http://www.meti.go.jp>

（図1）IoT推進ラボに関わる組織図

